

# 日本防災士会 千葉県北部支部 役員会 議事録

【日時】 令和2年4月26日(日) 13:30~14:20

【会場】 ハロー貸会議室千葉駅前 RoomA

【出席者】 (敬称略)

役員：出席者数13名(決議委任を含む) (役員数19名)

①出席：谷正美、藤田隆雄、佐藤修一、中村利孝、竹内哲志

②決議委任：中村誠、大塚晃一、熊澤晃、高場捷美、榎本和幸、小椋養一、岡田和也、平山優子

監査：

会員：

## 【開催にあたっての感染リスク低減実施項目】

開催にあたって、会場出席者は以下を実施し、感染リスク低減に努めた。

専門医による問診表による各自の健康チェック及び相互確認(資料添付)

検温の記録(開催前及び数日間)

会場のアルコール消毒

会場でのマスク着用の確認

会場着席間隔を2m以上の確認

会議室の換気窓開け

## 【議題1】 議長選任

<資料>無し

・出席者の中から谷副支部長を議長として選任した。

<選任理由>決議委任の中に「議長一任」があり、役員会成立に影響するため。

## 【議題2】 役員会成立確認

<資料>無し

・決議委任を含み、13名の出席が確認できることから、本役員会は成立した。

## 【議題3】 今後の支部運営の検討

新型コロナウイルス感染症流行により通常の活動が困難なため、今後の運営方法を検討した。

<資料>無し

### 1. 総会の開催形態の変更

①予定していた5月31日の定期総会は、現在の新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して、集合によらない書面決議によるものとし、令和元年度を終了させ令和2年度の活動を暫定的に開始する総会とする。

②その後、次年度の活動にかかわる事項を決議する臨時総会を、新型コロナウイルス感染症に

よる集会自粛要請解除後に、集合形態で開催する。

③定期総会、臨時総会とも開催時期は、別途検討する。

## 2. 定期総会の議題

定期総会では書面決議によることから、支部運営に必要不可欠な最小限の事項のみを決議する。

①令和元年度を終了させる以下の事項とする。

- ・令和元年度の活動のまとめ
- ・令和元年度収支報告
- ・令和元年度監査報告

②臨時総会開催までの令和2年度の支部運営のために、暫定役員及び暫定監査委員を選任する。

以下を候補者として推薦する。(敬称略)

- ・暫定役員：藤田隆雄、谷正美、佐藤修一、中村利孝、岡田和也、竹内哲志
- ・運営に必要不可欠な支部長として藤田 隆雄、支部窓口としての事務局長に竹内 哲志を推薦する。
- ・副支部長、会計、幹事については、別途検討する。
- ・暫定監査委員は別途検討する。

③会則第6条4項により定期総会開催をもって令和元年度の役員（現在の役員）は任期が終了することから、臨時総会開催までの運営については、暫定役員の協議によることとする。

## 3. 臨時総会の議題

①令和2年度事業運営方針

②令和2年度予算

③令和2年度役員選任

- ・定期総会選任の暫定役員にかかわらず、選任を行う。

## 4. 定期総会開催までの支部運営方法

①集合での役員会開催が困難であることから、本役員会で決議された暫定役員の協議により、以下の事項について運営する。

- ・定期総会開催及び資料について検討する。
- ・新型コロナウイルス感染症流行時期であるが、複数の自治体から感染症流行時の防災についての講習会の要請があることから、安全対策等を含め諾否を検討する。
- ・NHK千葉放送局との連携協力に関する協定書については、定期総会後速やかに締結できるよう準備を進める。
- ・大塚防災士から、支部活動基本方針についての資料提出があったが、本役員会で決議した通り臨時総会議題の令和2年度活動方針の中で検討する。
- ・その他必要な事項。

②集合による役員会は開催せず、テレビ会議開催またはメールによる意見収集を基本とする。

## 【今後の役員会・定例会等日程予定】

- ・未定

以上

(文責：竹内)